

授業概要

専門演習の目的は、卒業研究を円滑に達成するための心理学的な研究スキルと専門知識を習得することにある。そのための準備として、①各自の疑問や興味に即した文献の検索の方法、②専門的文献の精読とレポート作成、③発表と討論の各作業、などを通して実践的な心理学研究法の習得を目指す。具体的には、春期では共通研究課題として「プロジェクト課題」を設定し、そのテーマに関する基礎文献を精読しながら、専門的知識と方法論について学習する。秋期には春期の学習を踏まえて、各自の興味にそった研究課題を設定し、それを受けての学術の文献の渉猟と査読、その報告などを通して論文中で展開されている理論、研究法、分析手法について理解する。さらに、文献の検索や報告を通してリサーチ・スキルを修得する。以上の習得を目指して、指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：進め方の解説と確認	第 16 回	ガイダンス：秋期課題の確認
第 2 回	各自の関心テーマの発表(1)	第 17 回	研究テーマの再検討(1)
第 3 回	各自の関心テーマの発表(2)	第 18 回	研究テーマの再検討(2)
第 4 回	各自の関心テーマの発表(3)	第 19 回	文献講読と討議(1)
第 5 回	プロジェクト・テーマの策定(1)	第 20 回	文献講読と討議(2)
第 6 回	プロジェクト・テーマの策定(1)	第 21 回	文献講読と討議(3)
第 7 回	基礎文献の講読と討議(1)	第 22 回	文献講読と討議(4)
第 8 回	基礎文献の講読と討議(2)	第 23 回	文献講読と討議(5)
第 9 回	基礎文献の講読と討議(3)	第 24 回	文献講読と討議(6)
第 10 回	基礎文献の講読と討議(4)	第 25 回	各自の発表資料の作成と討論(1)
第 11 回	レポート課題の発表と討議(1)	第 26 回	各自の発表資料の作成と討論(2)
第 12 回	レポート課題の発表と討議(2)	第 27 回	各自の発表資料の作成と討論(3)
第 13 回	レポート課題の発表と討議(3)	第 28 回	各自の発表資料の作成と討論(4)
第 14 回	レポート課題の発表と討議(4)	第 29 回	研究発表会(1)
第 15 回	前期のまとめ	第 30 回	研究発表会(2)
		第 31 回	課題レポートの提出

到達目標

1. その基盤となる能力として、文献講読を通しての論理的理解能力と科学的な批判的思考の習得を目指す。
2. 自分の興味・関心に沿ったテーマについて、自分で研究計画を立案、実施し、その成果のプレゼンテーションを踏まえてレポート論文にまとめ上げることができる。

履修上の注意

1. 病気、怪我等の特別な事情がない限り、毎回出席を義務づける。病気等の場合は、診断書の提出を求める。理由なく 5 回以上の欠席の場合、単位は認定しない。
2. 授業参加と発表状況およびレポートの完成度が基準に満たない場合は再提出、追加課題の実施あるいは再履修を求められる。

予習・復習

1. 各自の関心に沿って課題を設定・研究を実施する。また、事前に文献を読み、演習での発表レポートを準備する。
2. 文献の講読、吟味、分析を行い、一定の結論を導き出し、レポートを作成・提出する。そのため、授業以外の自主的学習が必要となる。

評価方法

1. 自分の興味・関心に沿ったテーマについて研究計画を立案（40％）し、論理的なレポートが作成（60％）できること。

テキスト

事前に指定する図書はない。課題に応じて参考文献、査読論文等を紹介する。

授業概要

- ・子育て支援、教育・福祉に関連することがテーマです。具体的には、子育て支援（虐待予防、家庭教育）、教育・福祉（いじめ、不登校、学級崩壊、小1プロブレム、中1ギャップ、特別支援など、介護なども含む）。
- ・興味関心を広げるために、世の中の事象や時事問題についての情報を収集し、議論し、理解を深めることを目指して指導します。
- ・学校現場にてボランティアを行い、児童生徒とふれ合いながら体験学習する場合もあります。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	論文・資料の集め方1	第17回	より詳細な論文、資料の集め方1
第3回	論文・資料の集め方2	第18回	より詳細な論文、資料の集め方2
第4回	論文・資料の集め方3	第19回	論文・資料の読み解き方1
第5回	論文・資料の読み方1	第20回	論文・資料の読み解き方2
第6回	論文・資料の読み方2	第21回	論文・資料の読み解き方3
第7回	論文・資料の読み方3	第22回	各自発表：卒論準備進捗状況報告1
第8回	発表資料の作成1	第23回	各自発表：卒論準備進捗状況報告2
第9回	発表資料の作成2	第24回	各自発表：卒論準備進捗状況報告3
第10回	発表資料の作成3	第25回	各自発表：卒論準備進捗状況報告4
第11回	中間発表1	第26回	各自発表：卒論準備進捗状況報告5
第12回	中間発表2	第27回	各自発表：卒論準備進捗状況報告6
第13回	中間発表3	第28回	各自発表：卒論準備進捗状況報告7
第14回	中間発表4	第29回	成長点と課題の明確化1
第15回	まとめ	第30回	成長点と課題の明確化2
		第31回	まとめ

到達目標

- ・自分の興味関心があるテーマに関連する文献や資料を収集する力をつけることができる
- ・文献や資料を繰り返し読み、内容を理解することができる
- ・興味のある現場へ行き、自分の目で観察し、ふれ合いながら、理解を深めることができる
- ・聞き手が分かるようなレジュメ、レポートを作成する力をつけることができる

履修上の注意

- ・演習は学生が主体的に学ぶ場所です。毎回、出席すること。
- ・心理学概論、心理学研究法、心理統計法、心理学実験、発達心理学を履修済み、教育心理学（履修中、履修予定）であること。

予習・復習

- ・演習の準備に時間をかけること。
- ・図書館、メディア等を利用して、資料を探し、集め、予習・復習に生かすこと。
- ・毎日、新聞・ニュースを見る習慣をつけて、社会の様子・出来事に関心を持ち、自分の意見をまとめる。

評価方法

レジュメの内容(40%)、発表質問・意見・感想(40%)などの発言頻度、まとめの内容(20%)として総合的に評価します。

＊注意点として、欠席は厳禁です。遅刻3回＝1回の欠席とカウントします。

テキスト

参考書等は、必要に応じて授業の中で紹介していきます。

授業概要

専門演習では、卒業論文の完成に向けて基礎力を身に付けることを目的とする。すなわち、論文検索、読解、心理学研究法、レポートの書き方、発表の仕方等を指導する。また、心理学の視点からあらゆる社会現象を考察することを通して思考力が向上するよう指導する。関心のある研究テーマを選び、そのテーマに関して結果のまとめを指導する。これにより、研究に必要な基礎知識や方法論の習得につなげる。また、社会問題ならびに社会現象について心理学的な視点でディスカッションを行い、自己洞察力も養う。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	関心ある研究論文の読解 1	第 17 回	心理学研究法について
第 3 回	関心ある研究論文の読解 2	第 18 回	心理学統計法について
第 4 回	関心ある研究論文の読解 3	第 19 回	文献検索の仕方 1
第 5 回	関心ある研究論文の読解 4	第 20 回	文献検索の仕方 2
第 6 回	関心ある研究論文の読解 5	第 21 回	読解の確認
第 7 回	関心ある研究論文の読解 6	第 22 回	テーマ設定・研究計画の立案
第 8 回	構想発表 1	第 23 回	質問紙調査の選定・作成
第 9 回	構想発表 2	第 24 回	質問紙調査の作成・実施
第 10 回	構想発表 3	第 25 回	結果のまとめ方 1
第 11 回	構想発表 4	第 26 回	結果のまとめ方 2
第 12 回	構想発表 5	第 27 回	考察の書き方 1
第 13 回	構想発表 6	第 28 回	考察の書き方 2
第 14 回	まとめ・卒論への準備	第 29 回	ディスカッション
第 15 回	まとめ・卒論への準備	第 30 回	まとめ

到達目標

- ・研究計画を立案、実施し、結果をまとめ、考察できる。
- ・研究テーマに関わる文献、資料を収集し、内容を理解できる。
- ・社会現象を心理学的視点で議論できる。

履修上の注意

- ・社会心理学、感情心理学、臨床心理学等の領域で研究を進める。
- ・自ら積極的に進めようとする意欲をもって参加すること。

予習・復習

授業前には課題学習と発表準備を行い、授業後には疑問点や課題を整理すること。

評価方法

授業への参加態度（60%）、課題提出（30%）、発表の仕方（10%）などを総合的に評価する。

テキスト

必要なし。必要な場合には授業内で紹介する。

授業概要

臨床心理学領域での研究課題に基づいた卒業論文を作成するために必要な一連の知識，方法論について指導する。前半は，研究課題の明確化を図るために、各自の興味・関心に基づいて文献研究と結果整理を行ってもらい，それに基づいて指導する。後半は、実証的研究の方法論を学ぶために、グループごとに演習用調査を実施してもらい、データ解析から結果のまとめまでを指導する。

授業計画

<前期>		<後期>	
1	オリエンテーション	1	データ解析演習② (質問紙の作成と調査実施)
2	研究課題の明確化①(資料準備)	2	
3	研究課題の明確化② (アイディアの具体化)	3	
4		4	
5		5	データ解析演習② (データの処理と分析準備)
6	研究課題の明確化③ (文献研究と討論)	6	
7		7	データ解析演習③ (尺度の整理，記述統計量)
8		8	
9	研究課題の明確化④ (文献研究の継続と討論)	9	データ解析演習④ (相関分析， t 検定)
10		10	データ解析演習⑤ (分散分析)
11		11	データ解析演習⑤ (重回帰分析)
12	研究課題についてのまとめ発表 (パワーポイントによるプレゼンテーションと討論)	12	データ解析演習⑦ (フィードバック報告書作成)
13		13	
14	データ解析演習① (質問紙の作成)	14	データ解析演習⑧ (発表会準備，発表会)
15		15	

到達目標

1. 自らの研究課題を具体化し，整理して述べることができる。
2. 調査研究を実施するための基礎的な知識と倫理を身につけ，説明することができる。

履修上の注意

自ら主体的，積極的に取り組み，わからないことがあれば随時質問して解消すること。

予習・復習

予習：疑問点や検討点を整理する。
復習：授業内での指導を踏まえた振り返りと作業の進行

評価方法

授業参加態度（主体性，意欲，積極性）50%，研究課題まとめ発表の到達度 25%，データ解析演習研究発表の到達度 25%によって評価する。

テキスト

使用しない。必要な文献は適宜紹介する。

授業概要

心理学に関連するテーマ（特に臨床心理学・健康心理学・ポジティブ心理学・カウンセリング分野）で卒業論文を作成しようと考えている学生が対象です。この授業では、卒業論文の作成に必要な技術を学習します。具体的には、春期では関心のある先行研究の要約の発表や追試等、秋期では各自が関心のテーマの発表や構想発表等を行う予定です。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（発表順の決定等）	第 16 回	春季のレポートの返却やガイダンス等
第 2 回	教員のテーマ紹介とレジュメの作り方	第 17 回	春期に発表した論文の中から一つを
第 3 回	文献の検索方法	第 18 回	選んで、データを収集し、分析を行う。
第 4 回	各自が関心のある文献の発表	第 19 回	
第 5 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）	第 20 回	
第 6 回		第 21 回	各自のテーマ発表
第 7 回		第 22 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）
第 8 回	前回の発表で指摘された点を改善・発展	第 23 回	
第 9 回	させた各自の担当文献の発表	第 24 回	
第 10 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）	第 25 回	各自の構想発表
第 11 回		第 26 回	テーマと関連する先行研究との関係を
第 12 回	前回および前々回の発表で指摘された	第 27 回	発表
第 13 回	点を改善・発展させた各自の担当文献の	第 28 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）
第 14 回	発表	第 29 回	まとめと卒論への橋渡し
第 15 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）	第 30 回	

到達目標

- ・ 先行研究を検索し、読み取り、内容を発表することができる。
- ・ 先行研究と同様の目的と仮説に合ったデータを取得し、分析して結果を読み、考察を書くことができる。

履修上の注意

- ・ 心理学研究法Ⅰと心理学研究法Ⅱを履修済みであることが望ましいです。また、心理学の実習系の授業（心理学実験Ⅰ・Ⅱ、フィールドワークⅠ・Ⅱ、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ）のいずれか1組を受講しておくことが望ましいです。
- ・ 発表担当の週に無断欠席をした場合は、評価の対象から除外します。欠席や遅刻の扱い方は第1回の授業で行うので、必ず出席してください。

予習・復習

各ゼミ生の進捗状況に合わせて、次回の発表までに用意しておく資料や準備しておくレジュメ等を指示するので、指示を守ってください。指示を守れない場合、卒業研究の作成に支障を来す場合があるので自覚しておいてください。

評価方法

授業への参加態度(10%)、発表時のレジュメ(30%)、発表の仕方(30%)、レポートの内容(30%)などを総合的に評価します。

テキスト

学生が作成したレジュメを使用するため、テキストは指定しません。

授業概要

専門演習では、心理学的な研究スキルと専門知識を修得することを目的とする。春学期・秋学期を通して、段階的に心理学研究に関する理解と技能を高めていくことを目指して指導する。発表、質疑応答、討議などの学生参加型の時間も積極的に取り入れる。

春学期には心理学研究の進め方や文献の調べ方・まとめ方について学び、興味・関心のある課題やテーマに基づく論文に関して発表を行う。秋学期では、個人あるいはグループで一つの研究テーマについて研究計画を立て、データ収集・分析・考察を行い、報告書作成と結果発表を行う。年間を通して段階的に研究の一連の流れを経験することで、4年次の卒業研究に対する知識・能力を養う。

授業計画

第1回	ガイダンス	第16回	秋期オリエンテーション、研究構想
第2回	教員の研究紹介、研究論文の読み方	第17回	文献研究と討議
第3回	心理学研究の進め方、発表レジュメ	第18回	
第4回	各人が関心のあるテーマや領域の発表	第19回	研究計画の立案(個人、グループ)
第5回	文献研究と討議	第20回	調査の準備
第6回		第21回	
第7回		第22回	データの収集
第8回		第23回	データ分析／結果・考察の検討
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回	研究発表のまとめ方	第26回	
第12回	研究構想の発表(パワーポイントによる	第27回	報告書の作成
第13回	プレゼンテーション)	第28回	
第14回	まとめ、秋期に向けて	第29回	研究発表(パワーポイントによるプレゼンテーション)
第15回	今後に向けて(自己理解やキャリア形成)	第30回	まとめ、卒論に向けて

到達目標

- ・自身が関心を持てる研究課題やテーマを、言語化し定めることができる。
- ・心理学研究の基本的な進め方を、習得することができる。
- ・心理学研究における文献検索ができ、講読や理解を通して、まとめや発表ができる。
- ・関心のある研究課題や研究テーマについて、個人もしくはグループで取り組み、研究計画の立案・実施、データ分析、結果のまとめ、プレゼンテーションをすることができる。

履修上の注意

- ・合理的な事情がない限り、毎回出席をすること。
- ・メールや Teams を活用し、連絡や情報共有をすること。
- ・意欲的に授業に参加する姿勢を持ち、授業時間以外の自主的な学習時間も想定すること。
- ・グループでの発表や活動も想定している。仲間同士から学び合う姿勢を持ち、協力・協働をすること。

予習・復習

- ・文献検索や講読、データ収集、データ分析、レポート作成、発表準備など授業時間外の学習にも取り組むこと。
- ・毎回の資料や情報を各人なりにファイリングし、必要な情報はノートに記録すること。

評価方法

授業態度(30%)、発表の内容(30%)、レポート課題(40%)により総合的に評価する。

テキスト

必要に応じて資料を配布する。
参考図書などは必要があれば、授業内で紹介する。

授業概要

まず前半は、心理学の研究手法を用いた論文の収集方法と読み方を指導した上で、各自の興味のある文献についての発表を求め、その内容について指導する。また、様々な心理学の研究手法、分析法について指導する。後半では、心理療法について体験的に教示しつつ、心理療法の効果を測定し、それに基づいて論文形式のレポートが作成できるよう指導する。さらに、前半での学びを活かしつつ自身の興味関心のあるテーマについて研究計画を立てられるよう指導する。一連の手続きの体験から得られた改善点等を、卒業研究に繋げる。なお、日時は未定であるが、心理支援の実際を学ぶために、外部の施設に見学に行き、研究と臨床の繋がりについても指導をする。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	心理療法体験 1：コンパッションとは
第 2 回	文献・情報検索の方法について：図書	第 17 回	心理療法体験 2：3つの円のモデル
第 3 回	文献・情報検索の方法について：論文	第 18 回	心理療法体験 3：マインドフルネス
第 4 回	文献講読と発表の方法について	第 19 回	心理療法体験 4：思いやりのある自分
第 5 回	文献発表の準備とその添削	第 20 回	心理療法体験 5：分析とまとめ
第 6 回	文献発表①	第 21 回	文献研究および研究計画の発表
第 7 回	・各回につき 2 人ずつ	第 22 回	・各回につき 2～3 人ずつ発表
第 8 回	・発表と質疑応答	第 23 回	・発表内容についてゼミ全体でディスカッション
第 9 回		第 24 回	
第 10 回		第 25 回	・論理的に仮説を立てる方法を指導する
第 11 回	分析演習：t 検定	第 26 回	・研究計画にあった分析方法を指導する
第 12 回	分析演習：分散分析	第 27 回	
第 13 回	分析演習：相関分析	第 28 回	※各自のペースに合わせて指導を行う。
第 14 回	分析演習：重回帰分析	第 29 回	研究計画書を学期末に向けて作成する。
第 15 回	春学期のまとめ	第 30 回	秋学期のまとめ

到達目標

- 1. 必要な文献や情報を検索し、入手することができる。
- 2. 文献のおおまかな内容を理解し、その概要を発表することができる。
- 3. 先行研究を基に、論理的に思考し、自身の興味に関連した研究計画を立案することができる。
- 4. 心理学研究の形式でレポートを作成することができる。

履修上の注意

- ・授業時間外にも文献講読や発表の準備、レポート作成等、様々な準備が必要となります。積極的、主体的に取り組んでください。
- ・研究計画の立案と実行については、研究対象者や調査・実験・解析の方法に制限があるため、実現可能な形に修正していただく場合があります。
- ・発表や研究準備の進捗状況に応じて各回の内容が前後する場合があります。

予習・復習

文献収集、文献講読、発表準備、研究計画書作成、レポート作成等の予習を行う。また発表後の指導に基づく復習を行う。その方法については適宜指導する。

評価方法

授業への取り組み姿勢（40%）、発表内容（春学期・秋学期：各 40%）、心理療法体験のレポート課題（20%）を総合的に評価します。

テキスト

特にありません。参考書等は適宜紹介します。

授業概要

専門演習では、卒業論文の作成に必要な研究スキルと専門知識を習得することを目指して指導する。具体的には、「心理学論文の精読とレポート作成」と「ゼミ内発表と討論」を繰り返すことで心理学の研究法を学習する。春学期は、心理学論文を読みながら心理学研究についての基礎を復習する。教員が選定した論文から最も関心のある論文を1つ選び、各学生がその論文についてまとめ、持ち回りでプレゼンテーションを行う。秋学期は、興味のあるテーマや論文の構想を全員に発表する。ゼミ内での議論を通じて各学生の卒業論文構想がより明確化することを目指す。また、ゼミ内でグループを作成し質問紙作成から、データ収集、分析と結果の記述という一連の作業を行い、論文作成について体験的に学ぶ。

授業計画

第1回	ゼミの進め方の説明	第16回	関心のあるテーマの整理
第2回	発表の仕方の説明と発表担当者の決定	第17回	調査テーマの決定と仮説検討
第3回	論文発表1	第18回	質問紙の作成1
第4回	論文発表2	第19回	質問紙の作成2
第5回	論文発表3	第20回	調査の実施
第6回	論文発表4	第21回	データ入力
第7回	論文発表5	第22回	データ解析
第8回	論文発表6	第23回	レポートの作成1
第9回	論文発表7	第24回	レポートの作成2
第10回	論文発表8	第25回	卒論構想発表1
第11回	発表の振り返りとまとめ1	第26回	卒論構想発表2
第12回	発表の振り返りとまとめ2	第27回	卒論構想発表3
第13回	自己分析	第28回	卒論構想発表4
第14回	エントリーシートの書き方	第29回	卒論構想発表5
第15回	インターンシップへの取り組み方	第30回	卒論構想発表6
		第31回	まとめと振り返り

到達目標

- 自分に興味・関心のあるテーマの文献、資料を収集することができる。
- 発表レポートを作成することができる。
- 他の受講生の発表に対して、自分の意見をきちんと表明できる。
- 卒業研究として実行可能な研究を立案できる。

履修上の注意

専門演習は学生主体で行われるため、無断欠席をした場合他の受講生の迷惑になる。そのため、病気、怪我等の特別な事情がない限り、毎回の出席が求められる。また、グループでの発表や活動があるため、協働的な姿勢で参加して欲しい。

心理学の文献購読を進める際に、心理統計と研究法に関する基本的知識が必要になる。そのため、「心理学研究法」、「調査研究法」、「心理学統計法Ⅰ」、「心理学統計法Ⅱ」、「心理統計演習」などは履修済、もしくは今後履修することが望ましい。

予習・復習

授業、発表準備に時間をかけること。
論文発表の際、発表者以外も論文に目を通し、内容を確認しておくことが必要である。発表者が作成したレジュメによって復習をすること。

評価方法

発表内容(60%)、受講態度(40%)

テキスト

- 必要に応じて資料は配布する。
- 参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示する。

授業概要

専門演習では、心理学研究および卒業論文の基礎力といえる「論文を読み、理解し、実験・調査を実施する」を指導する。

春学期・秋学期を通して、一つの研究テーマについて調査もしくは実験研究を実施する。全体で研究テーマを選定し、先行研究を検索して、一人1つの文献について発表する。その後、研究の目的の設定、質問紙の作成・印刷を行い、データ収集、分析、報告書へのまとめという一連の作業を学生各自が行い、心理学論文の作成について指導する。実際の調査計画、実施、分析、論文執筆を体験することで、4年生の演習につなげる。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	コーディング、データ入力
第2回	心理学研究の流れ	第17回	データ分析①記述統計
第3回	テーマの設定	第18回	データ分析②推測統計
第4回	文献検索	第19回	結果の読み取り
第5回	研究論文の読み方（調査研究）	第20回	図表作成
第6回	論文発表1	第21回	方法の文章化
第7回	論文発表2	第22回	結果の文章化
第8回	論文発表3	第23回	考察の文章化
第9回	研究計画の立案	第24回	問題と目的の文章化
第10回	研究手続きの検討	第25回	論文の執筆
第11回	尺度の検討	第26回	論文の校正
第12回	質問紙作成	第27回	論文提出
第13回	調査依頼	第28回	発表資料の作成
第14回	調査実施	第29回	発表
第15回	春学期のまとめ	第30回	卒業論文に向けて
		第31回	まとめ

到達目標

- 心理学研究の計画実施および卒業論文執筆に必要とされる知識を身につけ、実践することができる。
- 自分自身の興味がある心理学的現象について理解を深めることができる。

履修上の注意

- 心理学の分野の中でも、パーソナリティ心理学、臨床心理学等の領域で卒業論文執筆を希望する方。
- 積極的・主体的に授業および調査研究に参加する姿勢をもつこと。
- グループでの発表や活動があるため、協働的な姿勢で参加すること。

予習・復習

授業時間内での学習に十分に組み込むこと。

評価方法

授業への受講態度(40%)、春学期のレポート(30%)、秋学期のレポート(30%)をもとに評価する。

テキスト

特になし。必要があれば、授業内で別途指示する。

授業概要

本演習は、知覚心理学・認知心理学・生理心理学などの基礎領域に関するテーマで実験的研究を行うための研究スキルと専門知識を習得することを目的としています。具体的には、わたしたちの心の基礎機能である知覚・認知特性の不思議さ、面白さに触れ、そのメカニズムを実験で明らかにする研究方法を体験していただきます。実験に適した環境（例えば防音/暗室など）の紹介も行います。前半は、最新の文献（研究論文）を読んで紹介（発表）することで、研究知見の共有・議論により知識を増やします。後半は、グループ（もしくは個別）で研究課題を設定し、研究課題の決定、先行研究検索から実験計画、実験実施から発表までの全ての研究過程を実践することで、研究スキルを身に付けます。これらを通して、幅広い教養と心理学の専門的知識に関する技能が高まり、現代社会の人間関係や組織の中で直面する課題に対し、主体的に取り組むことのできる力を身に付くよう指導します。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：演習の進め方	第 16 回	ガイダンス：秋学期の課題確認
第 2 回	研究テーマ選択	第 17 回	研究テーマの再選択と先行研究調査
第 3 回	関心のある研究テーマの文献検索	第 18 回	研究計画：仮設構築と実験計画
第 4 回	文献検索の実践	第 19 回	
第 5 回	文献講読の方法	第 20 回	
第 6 回	文献講読の実践	第 21 回	実験準備
第 7 回	文献紹介：個別発表と議論	第 22 回	
第 8 回		第 23 回	
第 9 回		第 24 回	実験実施
第 10 回		第 25 回	
第 11 回		第 26 回	
第 12 回		第 27 回	データの解析
第 13 回	文献紹介の振り返り	第 28 回	結果の考察
第 14 回	研究テーマの再検討	第 29 回	
第 15 回	まとめ：秋学期へ向けた準備	第 30 回	発表準備
		第 31 回	研究発表会
			まとめ：卒論へ向けた準備

到達目標

- ・実験研究の遂行に必要な文献検索および論理的理解能力と科学的・批判的思考を身に付けることができる。
- ・自身の興味関心に沿ったテーマについて、研究計画を立案、実施し、その成果を報告することができるスキルを身に付けることができる。

履修上の注意

- ・遅刻・欠席はしないこと。授業での課題や討論に積極的に取り組むこと。
- ・調査系ではなく実験系の研究法を用いた卒業研究を行いたいと考えている学生さん向けの演習です。
- ・研究法や統計法、心理学実験などの必修科目と、知覚心理学や認知心理学、神経生理心理学などの基礎科目の単位取得者を対象とする。履修済みでない場合は、今期に履修してください。

予習・復習

- ・予習として、研究法や統計法、心理学実験などの必修科目と、知覚心理学や認知心理学、神経生理心理学などの基礎科目の内容を理解しておくこと。また、文献紹介や研究進捗報告のための準備のために、授業以外の自主学修が必須である。
- ・復習として毎回の資料と課題を振り返ること。

評価方法

授業への参加態度（４０％）と発表内容（６０％）から総合的に評価する。

テキスト

テキストは指定しない。授業内で、参考書など必要な資料を適宜紹介します。

授業概要

本演習では、卒業論文を執筆・完成させるために必要な心理学研究法に関する基礎的な知識と実践力について、受講生が個別またはグループによる活動を通して身に着けることができるよう指導します。

前半は、小グループに分かれて一つの心理学的研究テーマを選定し、関連する先行研究や書籍を検索・精読してリサーチクエスチョンを設定します。各リサーチクエスチョンに適した研究計画について、グループ内・教員と討議しながら立案し、研究手法を検討する過程を指導します。

後半は、前半に検討した研究計画に基づき、データ収集、入力と分析、結果解釈と図表整理、レポート作成を経験し、最終的に研究発表を行うまで指導します。

なお、学外の心理支援施設の訪問見学を行い、臨床現場における科学的視点や活動について指導することも検討しています。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	関心のある研究テーマについて発表①	第 17 回	データ収集（主に質問紙）①
第 3 回	関心のある研究テーマについて発表②	第 18 回	データ収集②
第 4 回	心理学研究の一連の過程について概説	第 19 回	データ収集③
第 5 回	グループ分けと研究テーマの設定①	第 20 回	データ入力及び分析①
第 6 回	研究テーマの設定②	第 21 回	データ入力及び分析②
第 7 回	文献検索と購読、発表方法について概説	第 22 回	データ入力及び分析③
第 8 回	文献購読とその発表①	第 23 回	結果解釈と図表整理①
第 9 回	文献購読とその発表②	第 24 回	結果解釈と図表整理②
第 10 回	文献購読とその発表③	第 25 回	レポート作成と発表方法について概説
第 11 回	リサーチクエスチョンの設定	第 26 回	レポート作成①
第 12 回	研究計画の討議・立案	第 27 回	発表準備①
第 13 回	研究手法の選定①	第 28 回	発表準備②
第 14 回	研究手法の選定②	第 29 回	研究成果の発表
第 15 回	前半まとめ	第 30 回	全体まとめ
		第 31 回	研究レポートの提出

到達目標

心理学研究の方法論に基づき、以下の知識や技能を習得することが目標です。

①研究テーマに関連する先行研究や書籍を検索収集し、精読することができる

②リサーチクエスチョンを設定し、研究計画を立案することができる

③研究計画に基づき、データ収集と分析が実行できる

④データ分析の結果を解釈し、レポートにまとめることができる

⑤一連の心理学的研究の体験とその成果について発表することができる

履修上の注意

本演習では、以下の点にご留意ください。

- ・グループ活動や討論に積極的・主体的に取り組むことが求められます
- ・授業時間外に予習・復習として文献購読や発表準備、レポート作成等に取り組む時間が必要になります
- ・受講生の興味・関心、理解度によっては、各回内容を変更する可能性があります

予習・復習

各回授業で扱う内容に従って、予習・復習として文献購読、発表準備、データ収集や分析、レポート作成等を行って頂きます。

評価方法

授業参加態度（40%）、発表内容（前半 20%、後半 20%）、レポート内容（20%）によって総合的に評価します。

テキスト

特に指定しません。適宜授業中に参考図書や文献等を紹介します。

授業概要

専門演習では、心理学に関する研究疑問から研究計画の立案、実施、結果をまとめて発表するといった基礎的な部分のプロセスについて体験的に学べるよう指導します。専門演習で学んだことを基礎として卒業研究を実施し、卒業論文をまとめます。そのため、卒業研究の履修には専門演習の履修及び修了は必要不可欠と言えます。具体的には、以下のような形式で専門演習を行います。

- ・春期は心理学のテーマ及び研究手法を用いた論文の検索・収集方法、読み方について学びます。その後、各自の興味や関心のあるテーマを絞り、文献を調べ、研究計画を立て、発表します。
- ・秋期は、春期に立てた研究計画に基づいて研究を実施します。得られたデータ、解析した結果を考察し、より良い研究計画が立てられるよう指導を受け、卒業研究に繋がります。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：春季の進め方	第 16 回	オリエンテーション：秋季の進め方、データ分析演習
第 2 回	心理学研究法・統計法、研究倫理について	第 17 回	研究実施準備と進捗状況の発表
第 3 回	関心のあるテーマ、研究疑問の選定	第 18 回	
第 4 回	文献・情報検索及び購読の方法について	第 19 回	
第 5 回	文献講読と発表の方法について	第 20 回	
第 6 回	研究計画の立案と進捗状況の発表	第 21 回	
第 7 回		第 22 回	研究実施と進捗状況の発表
第 8 回		第 23 回	
第 9 回		第 24 回	
第 10 回		第 25 回	結果の整理と解析
第 11 回		第 26 回	
第 12 回		第 27 回	研究成果のまとめと進捗状況の発表
第 13 回		第 28 回	
第 14 回		第 29 回	研究レポートの提出と発表
第 15 回	研究計画書の提出と発表	第 30 回	

到達目標

- ・必要な研究に関する文献を収集することができる
- ・収集した文献の内容、研究手法を理解することができる
- ・収集した研究の限界について理解することができる
- ・実施可能な研究計画を立案することができる
- ・研究計画に基づいて研究を実施し、その結果を論文にまとめることができる

履修上の注意

心理学概論Ⅰ・Ⅱ、心理学実験・心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学研究法を履修していることが望ましい。春期・秋期ともに、自分で調べたことを毎週発表していただきます。発表内容について、学生および教員でコメントやディスカッションを行っていく形式を中心に授業は進んでいきます。そのため、発表内容に進捗がない場合は、授業が進んでいかないことに注意が必要です。

- ・グループ活動や討論に積極的・主体的に取り組むことが求められます
- ・授業時間外に予習・復習として文献購読や発表準備、レポート作成等に取り組む時間が必要になります

予習・復習

文献収集、文献講読、発表準備、研究計画書作成、レポート作成等の予習を行う。また発表後の指導に基づく復習を行う。その方法については適宜指導する。

評価方法

授業への取り組み姿勢(10%)、発表内容(春学期 20%)、文献レビューもしくは研究計画の発表(秋学期 30%)、最終レポートの内容(40%)を総合的に評価します。

テキスト

特にありません。参考書等は適宜紹介します。

授業概要

専門演習では、4 年次の卒業論文または卒業研究に必要なとなる心理学的研究の基礎的なスキルのうち、特に質問紙調査の知識を習得することを目的として指導する。前期は文献検索、研究テーマの設定、研究計画の立案、研究発表の方法を学習し、各自の関心のある文献の発表・議論を通して、最新の心理学に関する知見の収集や、心理学研究の一連の進め方を学んでいきます。その後、グループごとに自分たちの研究テーマの設定、計画の立案を行います。後期は、前期に計画を立てたグループごとの研究計画の実施、データ入力、解析、研究成果発表までを行う予定です。卒業研究の一連のプロセスをグループで協力しながら実際に体験することで、4 年次に向けた準備を進めます。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：演習の進め方、発表順決め	第 16 回	ガイダンス：演習の進め方、発表順決め
第 2 回	文献検索	第 17 回	質問紙の作成①
第 3 回	リサーチクエスションのたて方	第 18 回	質問紙の作成②
第 4 回	研究発表の方法、パワポの作成方法	第 19 回	調査の実施、データ入力、解析①
第 5 回	関心のある文献の発表・議論①	第 20 回	調査の実施、データ入力、解析②
第 6 回	関心のある文献の発表・議論②	第 21 回	調査の実施、データ入力、解析③
第 7 回	関心のある文献の発表・議論③	第 22 回	研究結果の解釈、結果のまとめ方
第 8 回	関心のある文献の発表・議論④	第 23 回	グループごとの研究成果発表①
第 9 回	関心のある文献の発表・議論⑤	第 24 回	グループごとの研究成果発表②
第 10 回	グループでの研究テーマの設定	第 25 回	卒論構想発表①
第 11 回	グループでの研究計画の立案①	第 26 回	卒論構想発表②
第 12 回	グループでの研究計画の立案②	第 27 回	卒論構想発表③
第 13 回	グループでの研究計画の発表・議論①	第 28 回	卒論構想発表④
第 14 回	グループでの研究計画の発表・議論②	第 29 回	卒論構想発表⑤
第 15 回	前期のまとめと振り返り	第 30 回	後期のまとめと振り返り
		第 31 回	卒論の研究計画書の提出

到達目標

- ・ 関心のあるテーマに関する文献を見つけ、その内容を適切に理解することができる。
- ・ 先行研究を収集し、明らかになっている点と限界点を踏まえ、自身の研究テーマを設定することができる。
- ・ 心理学研究に必要な基本的な知識やスキルを習得することができる。
- ・ 自分自身の考えを相手にわかりやすく伝えようと工夫することができる。

履修上の注意

- ・ 基本的には質問紙による調査研究に関する内容を扱いますが、質的研究を希望する受講生がいる場合には個別に相談しながら授業内容を検討します。
- ・ 受講生の積極性、主体性、自主性が求められる演習内容となっています。その点を十分に理解した上で、意欲的に参加してください。
- ・ グループ活動はメンバー同士の協力が求められます。協働的な姿勢で取り組んでください。
- ・ 授業の進捗具合によって、演習内容を変更する可能性があります。

予習・復習

- ・ 文献発表や研究発表は授業時間外での準備が必要となります。自分の発表回に間に合うよう、計画的かつ丁寧に取り組んでください。
- ・ 発表後の議論の内容を踏まえ、自分の発表内容を振り返り、ブラッシュアップする意識を持ってください。

評価方法

授業への参加態度（40%）、前期の発表内容（30%）、後期の発表内容（30%）、卒論の研究計画書（20%）を総合的に評価します。

テキスト

テキストは指定しません。適宜、授業内で参考書や資料などを紹介します。

授業概要

本演習では、調査法を念頭に置いて卒業論文を執筆するにあたり必要な技術を学習することを目的としている。具体的には、春期には各自が興味のある文献を調査・発表・ディスカッションを通して研究のテーマを設定する。そして、テーマに取り組むための研究計画を履修生や教員との討議を通して作成する。秋期では、研究計画に基づいた調査や実験、データ解析を行う。そして、得られた結果の解釈、図表の作成、レポート作成、研究発表を行う。

心理学の論文の作成と発表という一連の流れを経験し卒業論文の執筆に繋げるとともに、研究成果を他者に正確にわかりやすく伝えるスキルを身につけられるよう指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	教員の研究の紹介・文献の読み方	第 17 回	調査票の作成①
第 3 回	自分の興味・関心の探索と言語化	第 18 回	調査票の作成②
第 4 回	自分の興味・関心の発表と討論	第 19 回	調査の実施
第 5 回	研究のテーマとキーワードの設定	第 20 回	データ入力
第 6 回	テーマに基づいた文献研究と討議	第 21 回	データ解析
第 7 回		第 22 回	レポートの作成：目的
第 8 回		第 23 回	レポートの作成：方法
第 9 回		第 24 回	レポートの作成：結果
第 10 回	研究仮説の生成	第 25 回	レポートの作成：考察
第 11 回	研究計画の立案	第 26 回	発表準備：目的
第 12 回	・研究方法の設定	第 27 回	発表準備：方法
第 13 回	・研究材料の選定	第 28 回	発表準備：結果
第 14 回	・対象者の選定	第 29 回	発表準備：考察
第 15 回	・分析方法の確認	第 30 回	発表
		第 31 回	まとめと振り返り

到達目標

- 研究論文を執筆するための基本的な知識や技能を運用できる。
- 自分のテーマに基づいて研究計画を立案、分析、報告ができる。
- 自分の研究を他者に正確にわかりやすく説明できる。

履修上の注意

- 時間外の活動が必須となる。積極的、能動的に取り組むことが求められる。自分の予定もあるだろうが、計画的に受講すること。
- グループワークを実施する。
- 遅刻・欠席は厳禁。
- 研究法、統計法についての授業資料をよく復習し理解をしておくこと。
- 履修者の興味関心・理解度によって内容を変更することがある。

予習・復習

- 各授業回の内容に合わせて、予習、復習の内容を指示する。
- わからないことはそのままにせず自分でしらべたり、教員に質問したりするなどして、解決しておくこと。

評価方法

- 提出レポート（60％）と発表内容（40％）から総合的に評価する。

テキスト

- 指定しない。適宜資料を配布する。